学校番号	320

令和８年度　国語科

教科	国語科	科目	文学国語（自立）	単位数	４単位	年次	３年次
使用教科書	文学国語（数研出版）						
副教材等	テーマ別 文学国語 ベストクリア 2.5　（尚文出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・文章を通じて、ものの見方・考え方を学び、社会へ出るための豊かな感受性や想像力を養いましょう。
・話し合いや文章記述、発表などアクティブな活動を取り入れた授業を行います。
・言葉の持つ力、価値を認識し、生涯にわたって小説・詩歌などの文学作品に親しみ、自己を向上させ、他者への思いやり、理解を高めましょう。
・提出物の期限は守りましょう。定期考査は学習計画を立てて臨んでください。

2　学習の到達目標

・語彙を増やし、正確な感じの読みを書き取りの力をつける。
・高校時代にぜひ読んでおきたい作品を取り上げ、時代を理解する基本的な考え方をまず認識できるようになることを目指す。
・一面的な捉え方ではなく、多角的に思考を深めて発展させていくことを目指す。
・以上のように、様々な文章の精読によって、豊かな言語感覚と多様な価値観を養い、他者との円滑なコミュニケーション力を養っていくことを到達目標とする。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	実社会に必要な文学作品に対する知識や技能を身につけるようにする。 伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的、批判的に考える力を延ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	文学作品がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	昭和の作品を味わう ［教材］ 「ナイン」 「山月記」	a:作者の意図を正しく読み取るために語彙力、表現の仕方を学ぶ。 b:［読］内容や構成を理解している。 c:コミュニケーションをとって、自分の経験を話し合おうとしている。	小テスト	ワークシート	グループワーク
二学期	大正の作品を味わう ［教材］ 「こころ」 「永訣の朝」	a:作者の意図を正しく読み取るために語彙力、表現の仕方を学ぶ。 b:［読］内容や構成を理解している。 c:自分の意見をまとめようとしている。	定期考査	ワークシート	ワークシート
	源氏物語を味わう ［教材］ 「源氏物語」 原文・与謝野晶子訳、谷崎潤一郎訳、角田光代訳を読み比べる	a:文章の構成や展開を確かめ、文章の内容にふさわしい文体や語句、表現の技法が用いられているかどうかを考察しようとしている。 b［読］自らの意見や考えを読みとろうとしている。 c:自分の意見を他者にしっかりと伝えようとしている。	定期考査	ワークシート	発表
三学期	明治の作品を味わう ［教材］ 「舞姫」	a:古典の知識を活用して明治文学を読む。:また、実社会において必要な語句や表現を理解しようとしている。 b:［読］音読において他者と協働しようとしている c:時代を超えて、人間の在り方を理解しようとしている。	小テスト	ペアワーク	ワークシート

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準ｂ[　]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　0　）時間

・書くこと　…　（　22～30　）時間

・読むこと　…　（　75～83　）時間